



じりつ「自律と自立」

指 宿 高 等 学 校
進 路 指 導 部 第 6 号
発 行 日 R 8 . 3 . 3 (火)

オープンキャンパスに参加しよう

3年生が卒業しました。次は、1・2年生の番です。1年生の生徒は、「まだまだ先のこと」と思ってはいませんか？この1年が過ぎるのもあっという間だったのではないのでしょうか。受験対策が早いほど合格率はUPします。まずは、オープンキャンパスに参加して情報を収集しましょう。

Benesseの『マナビジョン』の『オーキャンを調べる』から検索できます。下のQRコードから入ってみましょう。



マナビジョン
QRコード

新設 データサイエンス学部

共通テストで「情報Ⅰ」が課されるようになりました。また、各大学では、「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」を設置するようになってきています。これらは、Society5.0という新しい時代に対応できる人材育成を目的としています。それに伴い、データサイエンス学部を新設する大学も増えています。データサイエンスでは、統計学や数学などの知識も必要ですが、データを分析して社会問題を解決する要素もあり、文理融合的な学部です。最近では、九州に近い下関市立大学に開設されています(24年4月)。

下関市立大学

- ・経済学部
- ・データサイエンス学部
- ・看護学部



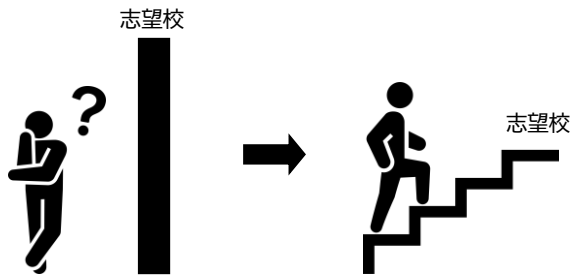
拡大する学校推薦型選抜と総合型選抜

大学合格者の約半分が『学校推薦型選抜』と『総合型選抜』によるものになってきています。これは、大学側が学力だけでなく、人物の個性や経験、学習意欲などを総合的に評価し、大学が求める学生像に合致する人物がほしいという意思の表れでしょう。『推薦』や『総合型』の試験日は一般より早いため、準備が必要であったり、出願に条件があったりしますが、ぜひ挑戦してほしいです。

『推薦・総合型』で活かされるのが「柏葉」で行っている探究活動です。25年度入試の鹿児島大学農学部の『推薦Ⅰ』では、「理科、農林・環境・食品を研究した者」が推薦要件でした。福知山公立大学地域経営学部では、26年度入試に『総合型Ⅰ』を実施しました。内容は資料を読み解き、問題を設定し、提案をまとめ上げるという、探究活動の経験を活かすことのできるものです。自分の進路に合わせたテーマで「柏葉」の探究をしてみてもはどうでしょうか。

(福知山公立大学：京都府の北近畿に位置する。他に情報学部がある。)

その学習計画, 大丈夫?



志望校に対して、なんとなく勉強してはいませんか? 「学校の宿題を1時間, 数学の問題集を1時間やろう。」こんな計画では, 大学は受かりません。「なんとかなるだろう。」となめていると, 国公立大学は落ちます。 志望校の受験科目を研究し, 配点が高い科目は何なのか, また, 自分の苦手科目(分野)は何なのかを分析し, 優先順位を明確にしましょう。目標から逆算して, ステップアップできる学習計画を立てましょう。

下記の例のように, 学習量を明確化し, 週単位で計画を立てましょう。(特に国公立大学・難関私立大学を目指すのであれば)

ある平日の計画(例)
① 学校の宿題: 1時間
② 数学問題集10題: 1時間
③ 英単語100語暗記: 30分
④ 古文単語30語暗記: 15分

ある休日の計画(例)
① 学校の宿題: 1時間
② 数学週の解き直し: 1.5時間
③ 英語長文3題: 1時間
④ 古典模試復習: 1時間
⑤ 週英単語暗記復習: 30分
⑥ 週古文単語復習: 15分

中学の学習でつまづいているあなたに

小学・中学の学習内容は基本ですが非常に重要です。中学までの内容が理解できていないと, いくら高校の内容を学習しても積み上がることはありません。特に, 高校入試で50点未満であった科目は, 中学内容のやり直しが必要です。スタディサプリには, [新版]中1〜2 英語・数学・国語(共通版)がありますので, これらを利用してやり直しましょう。 または, 市販の薄手の問題集をくり返し取り組むのも効果的です。



進研模試の復習の仕方

まず, マナビジョンにログインし, 「合格ライン」で, 今回の模試において自分の志望校では何点必要かを調べます。そして, 自分の合計得点との差を求めます。たとえば, 差が-45点であり, 受験科目が5科目(1年生は3科目)であれば, 1科目あたり9点必要になります。各科目の問題を見て, どこで9点取れたかどうか, を考えて復習しましょう。実は, 各問題にはランク(S★~Cまで, 鹿児島大学であれば, C・B・Aの問題が解ける必要がある)があり, 模試の数日後に公表されます。自分の志望校に合うランクの問題の中から, あと何点必要かを考えて復習すると効果的です。(今までの模試のランクについては, 担任の先生に教えてもらいましょう。)